

「きらりと光るまちの人」

SMILE UP!

Vol.29

高木 理代 さん

TAKAKI RIYO

親子の身近な相談役「母子保健推進員」

母子保健推進員（通称：母推）は、妊娠期から子育て期までの親子を支援するため、身近な相談役として行政と親子のパイプ役を担っている。主な活動は、市の母子保健事業（マタニティひろばなど）のサポートや、子育て輪づくりサークル活動で、現在 45 人の会員が市の委嘱を受け、60 代の会員を中心に活躍している。

令和 2 年から会長を務めている高木さんは、9 年前に知人に声を掛けられたのをきっかけに母子保健推進員になった。相談を受ける際に気をつけていることは、「自分たちの世代との違いを認め、相手の話をよく聞くこと。離乳食にしても、推奨されている時期も食材も私たちが子育てしていたころとは違います。新しい知識の習得に努め、自身の経験とあわせて話すようにしています」と優しく笑う。

これからの活動には課題もあるという。新型コロナウイルス感染症の影響で人との距離の取り方が難しくなった。ルールは緩和されつつあるが、一度根付いた意識を変えコロナ前のような活動ができるのかということ。また、早い段階で子どもを保育園等に預ける共働き世帯が増えると、活動に参加できる親子が減ることも予想される。「将来的な活動の仕方や支援の方法については、行政と協力して工夫していく必要を感じています」と話す。

母子保健推進員をしていて喜びを感じるのは、活動で知り合った母親から声をかけられたり、赤ちゃんだった子どもの成長を見たりすることだそう。「活動を通して少しでも話しやすい地域性を作り、私たちが接している子どもたちがここに住み続けたいと思えるようなお手伝いができたら嬉しいです」



Profile・山陽小野田市母子保健推進協議会会長。看護師の資格を持ち、現在はヘルパーとして介護施設に勤務。座右の名は「行雲流水」。できるだけ自然体でいたいと望む。趣味は電子図書を活用しての読書。共に活動をする会員も募集中！母推活動に興味を持たれた人は、健康増進課（☎71-1815）へご連絡ください。



◀令和元年まで毎年実施していた「ミニ運動会」の様子。今年度は 10 月 24 日㈫に厚狭地区複合施設で、親子交流イベントを開催予定。

「みんなの笑顔」の写真を募集！



このコーナーでは、自分や家族の笑顔、大切な仲間との思い出の笑顔、自慢のうちの可愛いペットなど「みんなの笑顔」の写真を募集します！

岡・甲 756-8601 山陽小野田市役所 シティセールス課広報係（☎ 82-1148）

応募方法

- ①写真（プリントしたものまたはデジタルデータ。ファイルサイズは 1MB 程度。写真の比率は 1：1）
※写真プリントは返却致しませんのでご了承ください。
- ②応募者の氏名（掲載はペンネームでも可）
※応募者は市内在住・在職・在学の人に限りです。
- ③作品名または 15 文字程度のコメント
- ④応募者の連絡先（昼間連絡のとれる電話番号）

詳しくはこちら！



【注意事項】応募者以外の方が写真に写っている場合は、必ず本人の使用承諾を得てください。不適切な写真、加工した画像（文字の挿入など）は掲載できません。写真はトリミングする場合があります。コメントは表現の統一のため、意味を変えない程度に変更を加える場合があります。市は広報紙掲載の目的以外に写真を使用しません。応募作品の著作権は、応募者本人に帰属します。